

鳥取県のプロフィール

鳥取県は、中国地方の北東部に位置し、東西約120km、南北約20～50kmと、東西にやや細長い県です。北は日本海に面し、鳥取砂丘をはじめとする白砂青松の海岸線が続き、南には、中国地方の最高峰・大山をはじめ、中国山地の山々が連なっています。山地の多い地形ながら、三つの河川の流域に平野が形成され、それぞれ鳥取市、倉吉市、米子市が流域の中心都市として発達しています。気候は比較的温暖で、春から秋は好天が多く、冬には降雪もあるなど、四季の移り変わりは鮮やかです。また、台風などの自然災害が少なく、気候条件に恵まれています。

面積：3,507km² 人口：約59万人 世帯数：約21万世帯
市町村数：4市14町1村 県庁所在地：鳥取市



鳥取県の自然

大山

中国地方の最高峰大山には西日本最大級のブナ林が広がり、貴重な動植物を育てています。山頂付近では、日本最大の面積を誇るダイセンキョロボク純林が群生し、特別天然記念物として保護されています。



鳥取砂丘

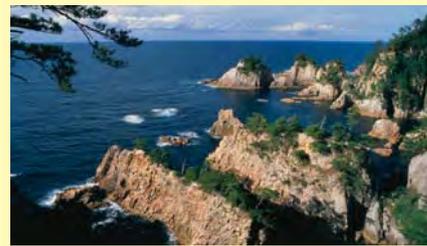
鳥取砂丘の特徴は広さとともに起伏の大きな砂丘列が見られることです。一面に広がる砂のふるさは中国山地、風化・侵食された岩石が砂となって千代川から日本海に流れ着き、風によって海岸に打ち上げられ、長い歳月をかけて鳥取砂丘となったと言われています。



浦富海岸

県東部にある浦富海岸は、山陰海岸国立公園に指定された景勝地で、文豪・島崎藤村が、その息を呑む美しさを「神祕の幽境」と称したほどです。

なお、鳥取砂丘、浦富海岸を含む京都府京丹後市までの東西約110kmのエリアは「山陰海岸ジオパーク」として、「世界ジオパーク」に認定されています。



鳥取県の特産

鳥取県は、豊かな自然を背景に果物、魚、カニなど、海の幸や山の幸が豊富にあります。また、海岸部では特色ある砂地農業が営まれ、全国に知られる特産品である砂丘らっきょうを生産しています。

松葉がに

冬の味覚の王様と言われる松葉がに。鳥取県西部に位置する境漁港は、松葉がにを含むカニ類の水揚げ量が日本一の港です。



鳥取すいか

大玉で甘みたっぷりの「鳥取すいか」は、全国第4位の産出額(H22)を誇っています。



二十世紀梨

二十世紀梨は鳥取県を代表する果物であるとともに、東南アジアやアメリカなど海外にも輸出され、高級感あふれる果物として親しまれています。



鳥取和牛オレイン55

オリーブオイルの主成分でもあるオレイン酸を豊富に含んだ「鳥取和牛オレイン55」は、まろやかでエレガントな味わいがポイントです。



新甘泉

梨の新品種「新甘泉」は糖度が約14度と圧倒的な甘さが特徴です。

